

会議では今年度の学校運営協議会の課題を話し合いました

- ・学校と地域が連携していく中で、学校の学びに協力してくださる方への連絡として、地域の窓口はどこになるのか？  
→まちづくり協議会の総務企画委員会が該当する。
- ・経営方針の「保護者・地域・中学校との連携」として地域ができることはなにか？  
→学校ができないことを、地域でサポートする。大人が段取りをするのではなく、子どもがやりたいことを支援していく環境を作る。地域・PTAとも連携していかなければ。  
→ふれあい協力委員制度の活動の周知が足りない。保護者の間にも広めていく必要がある。新しい取組、新しいやり方を紹介して、協力できる体制づくりが必要。  
→「PTCA」で活動。PTの間にC（コミュニティ）が入る。中学生や若い人の意見を取り入れる。地域でもボランティアを募っていききたい。  
→今までの地区行事（祭りなど）の運営方法（太鼓の練習、模擬店のやり方など）を見直して、子どもや若い世代の意見を取り入れ、次（秋祭りなど）につなげていく。  
→子どもたちの「やってみたいな」の気持ちをくみ上げてあげてあげたい。  
→子どもと、かけこみ110番の家をウォークラリーしたことが思い出になっている。そのような取組が復活するとよい。  
→他地区ではアフターコロナで地域の関係が希薄化している。駅北地区は、まちづくり協議会による「こどもの見守り」をはじめ、PTA役員が青少年指導委員会の役員を継続してくれる、さらに子どもの支援をしてくれるなど、活動が活発である。まちづくりセンターとしても応援していきたい。  
→区長として、自分の区の情報を区内に周知することに努めている。知らないで地区での関係づくりがスムーズにならない、やっていることを発信し関心を高め、連携を深めていく。近々の課題である。  
→児童クラブも地域の方とつながりたい。令和7年度から企業委託となる時に課題になることは、地域とのかかわりがなくなることである。第一小学校の子どもなので、色々な場面で地域と連携を深めたい。保護者に情報発信し、知ってもらおう機会にしたい。  
→地区で見守り活動に協力してくれている人がたくさんいると思うが、名前がわからない。把握すれば、感謝の会に招くこともできる。今後の課題。

#### 令和5年度の課題

いろいろな意見が出たので、今年度の課題としてできることから取り組んでいく。